



# HPE Aruba Networking Central

## 基本操作ガイド

### ～入門編～

## 目次

1. はじめに .....	3
1.1 本資料について .....	3
1.2 注意事項 .....	3
1.3 Software version .....	3
2. HPE Aruba Networking Central への事前準備 .....	3
2.1 サポートされるデバイス .....	3
2.2 サポートされる Web ブラウザ .....	4
2.3 通信要件 .....	4
3. GreenLake edge-to-cloud Platform (GLP) 入門 .....	5
3.1 サインアップ .....	5
3.2 日本語 UI の設定方法 .....	7
3.3 GLP アカウントへ HPE Aruba Networking Central のアプリケーションを登録 .....	8
3.4 GLP から Aruba Central を起動 .....	11
3.5 Central ユーザー設定 .....	12
3.5.1 ユーザーアカウントの追加と削除 .....	12
3.5.2 ユーザーロールの作成 .....	14
3.5.3 ユーザーロールの割り当て .....	20
3.6 デバイスの追加 .....	22
3.7 サブスクリプションについて .....	26
3.8 サブスクリプションの追加方法 .....	27
3.8.1 サブスクリプションの追加方法 .....	27
3.8.2 デバイスへサブスクリプションの割り当て .....	28
3.8.3 サブスクリプションのデバイス割り当て解除方法 .....	31
4. HPE Aruba Networking Central 入門 .....	32
4.1 Central インターフェースの基本操作 .....	32
4.2 グループ・サイト・ラベルの作成方法 .....	33
4.2.1 グループ .....	33
4.2.2 グループからデバイスを削除する .....	38
4.2.3 サイト .....	39
4.2.4 ラベル .....	42



以下の表に、本文書の修正点を示します。

表 1: 改訂履歴

版数	主な変更内容
第1版	初版発行
第2版	Central 2.5.4に伴う変更点を追加
第3版	Central 2.5.5に伴う変更点を追加
第4版	Central 2.5.6に伴う変更点を追加
第5版	Central 2.5.7に伴う変更点を追加
第6版	Central 2.5.8に伴う変更点を追加

## 1. はじめに

### 1.1 本資料について

本資料は、HPE Aruba Networking Central をはじめて利用する際に必要となるサインアップからサブスクリプション適用、グループ/サイト/レベル作成までの項目を記載しており、各作業を分かりやすくまとめております。

### 1.2 注意事項

本資料は弊社内において基本動作等を確認したものであり、お客様の環境における動作の保証をしていません。

本資料の内容は予告なく変更される場合があります。

以降のページにおいて「ルール」もしくは「役割」の表記がございますが、「ルール」=「役割」とご認識ください。

また、「ルール」の表現を一般的に用いておりますが、GUIの表記の関係上、一部「役割」と表現しております。

### 1.3 Software version

本資料はHPE Aruba Networking Central 2.5.8を元に作成しております。

## 2. HPE Aruba Networking Central への事前準備

### 2.1 サポートされるデバイス

HPE Aruba Networking Central でサポートされるデバイスのモデルとバージョンに関しては、HPE Aruba Networking Central Web Help ページを参照ください。

<https://www.arubanetworks.com/techdocs/central/latest/content/home.htm>

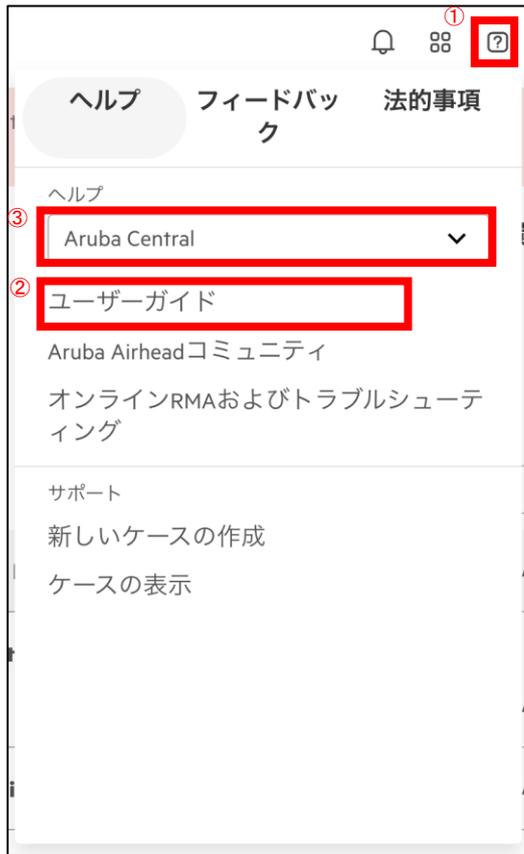
(Key Links > Supported Devices)

または GreenLake edge-to-cloud Platform (以下、GLP) 右上“?”マーク>Aruba Central を選択して、“ユーザーガイド”をクリックすることで、HPE Aruba Networking Central Online Help ページを表示可能です。

※GreenLake edge-to-cloud Platform (GLP)とは？

HPE Aruba Networking Central 2.5.5からHPE GreenLake Platform(当時の呼称)と統合され、ユーザーアカウントの追加、ロールの設定やデバイス、サブスクリプションの追加、割り当てはGreenLake edge-to-cloud Platform (GLP)から実施するように変更されました。GLPの詳細、操作方法については第三章以降にてご説明いたします。





## 2.2 サポートされる Web ブラウザ

次の Web ブラウザがサポートされています。

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge
- Apple Safari

詳細は以下 URL を参照ください。

[https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docId=a00120892en\\_us&docLocale=en\\_US&page=GUID-288668C3-0B3D-4106-A59D-F27A6790567A.html](https://support.hpe.com/hpsc/public/docDisplay?docId=a00120892en_us&docLocale=en_US&page=GUID-288668C3-0B3D-4106-A59D-F27A6790567A.html)

## 2.3 通信要件

Central とデバイス間では以下の通信が行われます。

詳細は以下 URL を参照ください。

[https://www.arubanetworks.com/techdocs/central/latest/content/nms/device-mgmt/communication\\_ports.htm?Highlight=communication%20port](https://www.arubanetworks.com/techdocs/central/latest/content/nms/device-mgmt/communication_ports.htm?Highlight=communication%20port)

- TCP ポート 443 : デバイスの設定/管理
- TCP ポート 80 : HPE Aruba Networking Central の評価登録ページを開くことができます。ユーザーが CloudFront サーバーにアクセスし、すべてのデバイスタイプのソフトウェアイメージを検索できるようにします。  
※CloudFront サーバーには、すべてのデバイスタイプのソフトウェアイメージがアップロードされており、バージョンアップなどを実行する際にアクセスします
- UDP ポート 123 : NTP サーバー
- TCP ポート 2083 : ゲストの RADIUS 認証(オプション、2083 が使用できない場合は、HTTPS が使用される)
- ICMP or UDP port 4500 : Gateway で構成された WAN アップリンクの状態確認



### 3. GreenLake edge-to-cloud Platform (GLP) 入門

#### 3.1 サインアップ

HPE Aruba Networking Centralを開始するには、GreenLake edge-to-cloud Platform (GLP)を利用する為のHPEアカウントを作成する必要があります。

※【再掲】GreenLake edge-to-cloud Platform (GLP)とは？

HPE Aruba Networking Central 2.5.5からHPE GreenLake Platform(当時の呼称)と統合され、ユーザーアカウントの追加、ロールの設定やデバイス、サブスクリプションの追加、割り当てはGreenLake edge-to-cloud Platform (GLP)から実施するように変更されました。

下記のURLの“サインアップ”から必要事項を記入の上アカウントを作成

<https://common.cloud.hpe.com/>

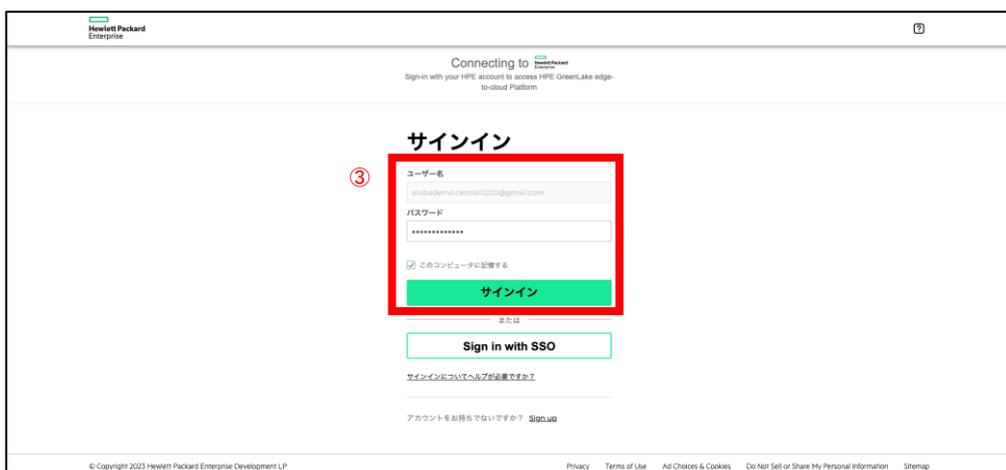
入力したEメール・アドレスに、確認メールが送付される  
メールに記載されたアクティベート用リンクをクリックして、アカウントをアクティベート





アカウント情報に間違いがないかを確認したら、先程サインアップをしたページからサインインする。ユーザー名を入力するとパスワードが求められるため設定したパスワードを入力

<https://common.cloud.hpe.com/>



サインイン後、次はHPE GreenLakeのアカウントを作成するため、“ワークスペースの作成”をクリック



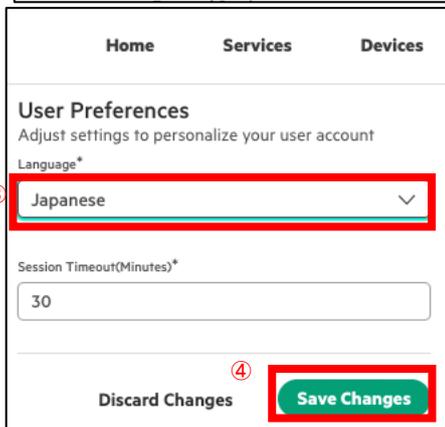
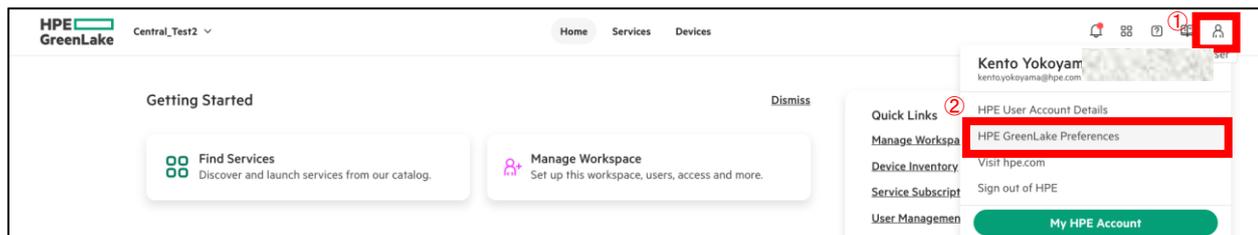
必要事項を記入し、“ワークスペースの作成”をクリック



### 3.2 日本語 UI の設定方法

GLP 右上のアイコンをクリック

HPE GreenLake Preferences をクリックし、Language をドロップダウンメニューから Japanese とし、“Save Changes”をクリック



UIが日本語に切り替わる



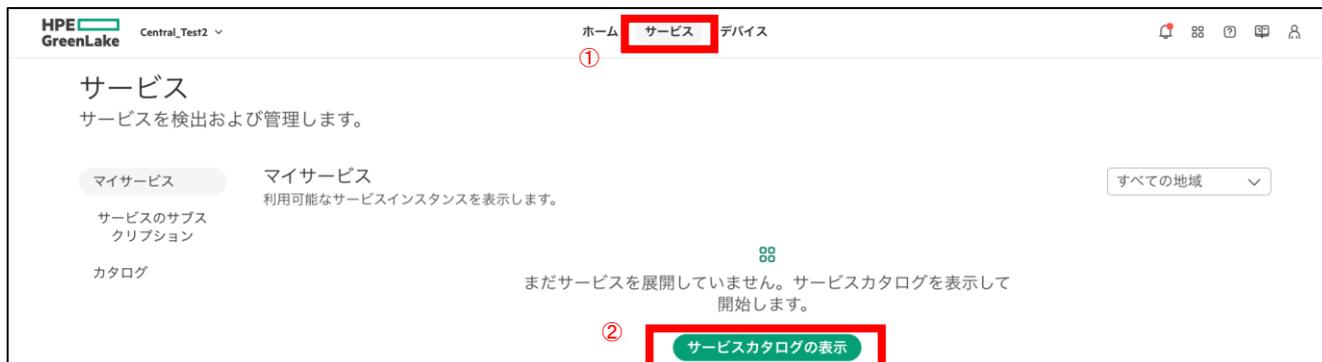
3.3 GLP アカウントへ HPE Aruba Networking Central のアプリケーションを登録

アカウントが作成されると以下のようなページが表示されます。

最初はHPE Aruba Networking Centralがサービスとして展開されていないため、利用ができません。

以下の手順でHPE Aruba Networking Centralをサービス登録します。

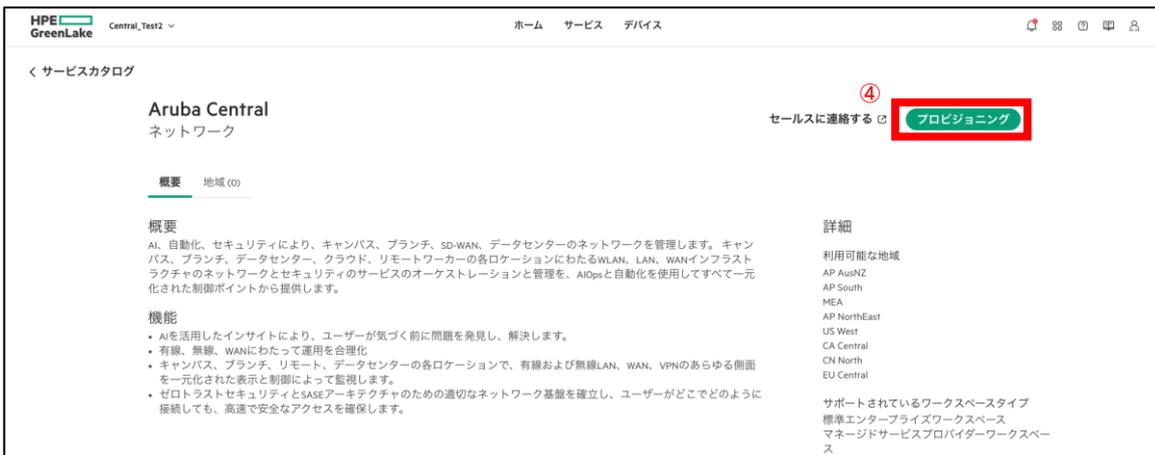
画面上部のメニューの“サービス”をクリックし、“サービスカタログの表示”をクリック



サービスカタログ内にあるHPE Aruba Networking Central をクリック

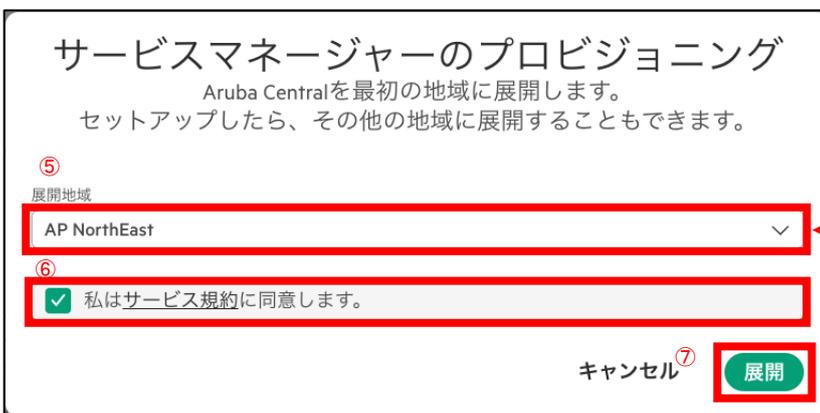


“プロビジョニング”をクリック



「展開地域」で“AP NorthEast”が選択されていることを確認し、サービス規約へのチェックを入れたら“展開”をクリック

「アプリケーションをインストールしています…」の表示から「起動」となればセットアップ完了です



“AP NorthEast”を選択

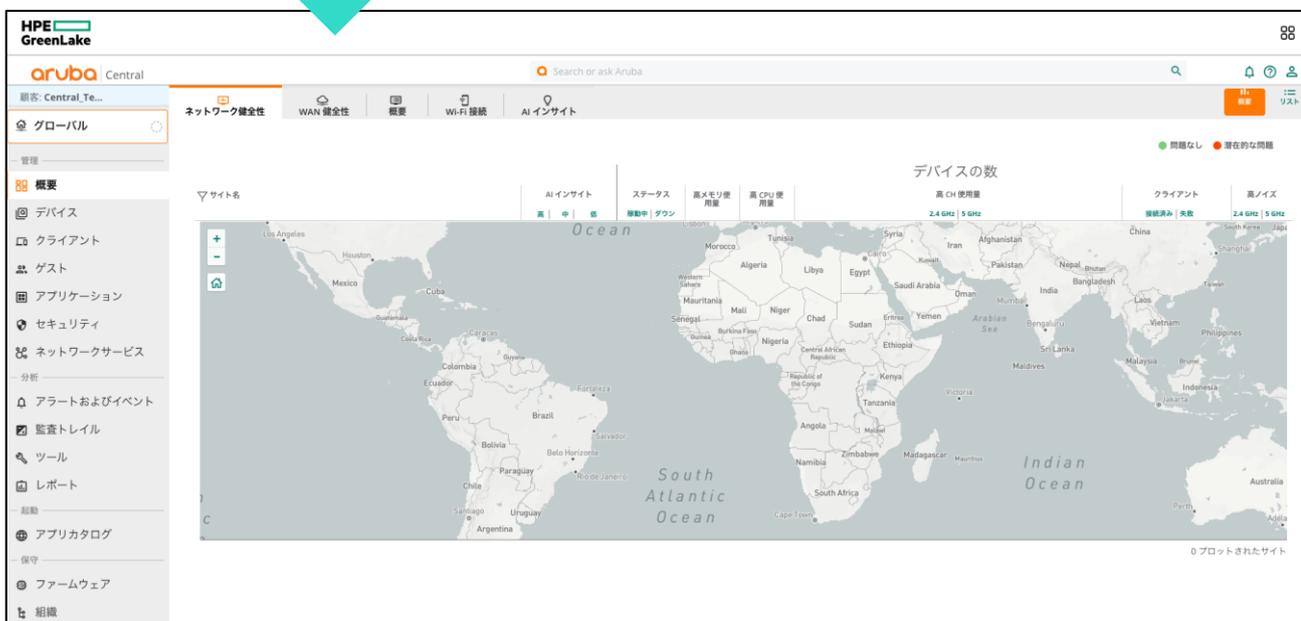




### 3.4 GLP から Aruba Central を起動

GLPからCentralを起動する際は、以下の2通りの方法があります。

操作方法① GLPの“ホーム”「最近のサービス」からAruba Centralの“起動”をクリック



操作方法② GLP上のMenu から“サービス”をクリックし、HPE Aruba Networking Centralの“起動”をクリック

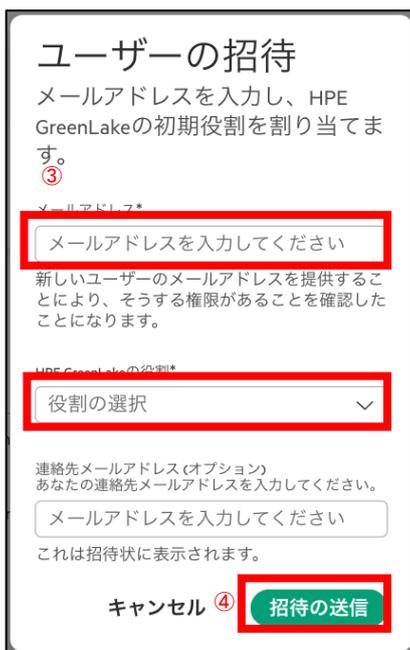


### 3.5 Central ユーザー設定

#### 3.5.1 ユーザーアカウントの追加と削除

Central にアクセスすることができるユーザーを追加するには GLP から招待メールを該当ユーザーのメールアドレス宛に送信します。

GLP の“クイックリンク”から「ユーザー管理>ユーザーの招待」をクリックし、追加するユーザーアカウントのメールアドレスと HPE GreenLake の役割を選択して「招待の送信」をクリック。該当のメールアドレス宛にログインリンクが記載された招待メールが送信される。



ユーザーアカウントの一覧も GLP の“クイックリンク”から ユーザー管理 で確認できます。



f ユーザーの削除について

ユーザーの削除は該当のユーザーにチェックを入れて、アクションのドロップダウンメニューから“削除”をクリック

< IDとアクセス

### Users

ユーザーの招待

総ユーザー数 **3**

アクティブユーザー **2**

非アクティブユーザー **0**

未確認ユーザー **0**

Q ユーザーの検索

1 of 3 ユーザー selected

<input type="checkbox"/>	名前	電子メール	ステータス	プラットフォームロール	最後にアクティブ	
<input type="checkbox"/>	yo [redacted]	[redacted]	VERIFIED	Account Administrator	12月 13, 2022	...
<input type="checkbox"/>	YO [redacted]	[redacted]	VERIFIED	Account Administrator	9時間前	...
<input checked="" type="checkbox"/>	yo [redacted]	[redacted]	VERIFIED	Account Administrator	--	...

①

②

アクション ▾

削除



### 3.5.2 ユーザーロールの作成

ユーザーアカウントの操作権限は「ユーザーロール」でロールを設定し、「ユーザーアクセスの割り当て」でユーザーに割り当てます。ロールはGLPの操作権限とCentralの操作権限の2種類あります。ロールの詳細は以下URLを参照ください。

[https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00120892en\\_us&page=GUID-FF77BFEC-79AB-4FBC-8684-FADB9FAE138A.html](https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00120892en_us&page=GUID-FF77BFEC-79AB-4FBC-8684-FADB9FAE138A.html)

まずはユーザーロールを作成します。

GLPの右上、四角のボタン( ☰ )をクリック、「HPE GreenLakeの管理」から「ワークスペースの管理」をクリック



「ワークスペースのIDとアクセス」をクリックし、「役割とアクセス許可」をクリック



ワークスペースの管理

## IDとアクセス

ユーザーとリソースへのアクセスを安全に管理します。

管理

**ユーザー**

HPE GreenLakeのワークスペースにアクセスするユーザーを招待し、リソースへのユーザーアクセスを管理します。

**④ 役割とアクセス許可**

ユーザー役割を管理します。

**リソース制限ポリシー**

リソース制限ポリシーより詳細なアクセス制御のため、カスタマイズ可能なリソースグループで役割のアクセスを制限します。

クイックアクション

**ユーザーの招待**

HPE GreenLakeのワークスペースにアクセスするユーザーを招待します。

ユーザーの招待

**役割の割り当て**

ユーザーに適切な権限を割り当てます。

役割の割り当て

**アクセス履歴の表示**

IDの割り当てとアクティベーションの履歴を表示し、コンプライアンス維持を可能にします。

履歴の表示

ロールの一覧が表示されます。

サービスマネージャの欄でHPE GreenLake PlatformはGLPの操作ロール、Aruba Central は Central の操作ロールです。

新規にロールを作成するときは右上の「役割の作成」をクリック

## 役割とアクセス許可

役割は、ユーザーにアクセスを許可する権限のグループです。カスタム役割を作成するか、既存の役割をコピーしてその権限をアップデートします。

**⑤ 役割の作成**

Q 役割の検索

13 役割

名前	説明	役割	割り当て済みユーザー	サービスマネージャー
Aruba Central view edit role	Aruba Central view edit Role	組み込み	--	Aruba Central
NetInsight Campus Admin	NetInsight Campus Admin Role	組み込み	--	Aruba Central
Aruba Central Operator	Aruba Central Operator Role	組み込み	--	Aruba Central
NetInsight Campus Viewonly	NetInsight Campus Viewonly Role	組み込み	--	Aruba Central
Aruba Central View Only	Aruba Central View Only Role	組み込み	--	Aruba Central
Orders Administrator	Administer billing-accounts and orders	組み込み	--	HPE GreenLake Platform
Workspace Observer	Workspace Observer Role	組み込み	--	HPE GreenLake Platform
Orders Operator	Order subscriptions	組み込み	--	HPE GreenLake Platform
Workspace Administrator	Workspace Administrator Role	組み込み	1 ユーザー	HPE GreenLake Platform
Workspace Operator	Workspace Operator Role	組み込み	--	HPE GreenLake Platform

< 1 2 >



既存のロールの中身をコピーして新規作成する場合は“既存の役割の複製”を選択、新規にロールを作成する場合は“新しい役割の作成”を選択し“HPE GreenLake Platform”もしくは“Aruba Central”をサービスマネージャーで選択し“次へ”をクリック

役割の作成

新しい役割の作成  
 既存の役割の複製

サービスマネージャー\*  
アクセスを許可するサービスマネージャーを選択します

Aruba Central

キャンセル **次へ** ⑥

— HPE GreenLake Platform  
Aruba Central

役割名とその説明(オプション)を入力して“Next”をクリック

Step 1 of 3

## 名前と説明の追加

カスタム役割に名前を付け、オプションで説明を記載します。

役割名\*

Custom\_Central

説明  
最大256文字

Centralユーザ用のカスタムロール

**Next** → ⑦

“権限の追加”をクリックして、各Aruba CentralリソースへのEdit/View権限を付与/削除し、“追加”をクリック

Step 2 of 3

## Aruba Centralの権限の追加

権限は、リソースに対してどのようなアクションが可能かを定義します。役割を持つユーザーが実行できるアクションを選択します。

権限



カスタム役割に権限を追加して開始します。

権限の追加

⑧

Next →



## Aruba Central 権限

アクセスを許可するリソースを選択します。

Airgroup	>	<input type="text" value="アクセス許可をフィル"/>  <b>Airgroup</b> Airgroup <input type="checkbox"/> Edit <input checked="" type="checkbox"/> View
Device Profiling	7 sub-resources >	
Group Management Service	>	
Guest Service	>	
Install Manager	>	
Label Management Service	>	
MSP Service	>	
Net Insight	>	
NMS Service	5 sub-resources >	
Other Applications	>	
Presence	>	
Reports	>	
Site Management Service	>	

キャンセル <sup>9</sup>



追加した権限の中身を確認したら“Next”をクリック

Step 2 of 3

### Aruba Centralの権限の追加

権限は、リソースに対してどのようなアクションが可能かを定義します。役割を持つユーザーが実行できるアクションを選択します。

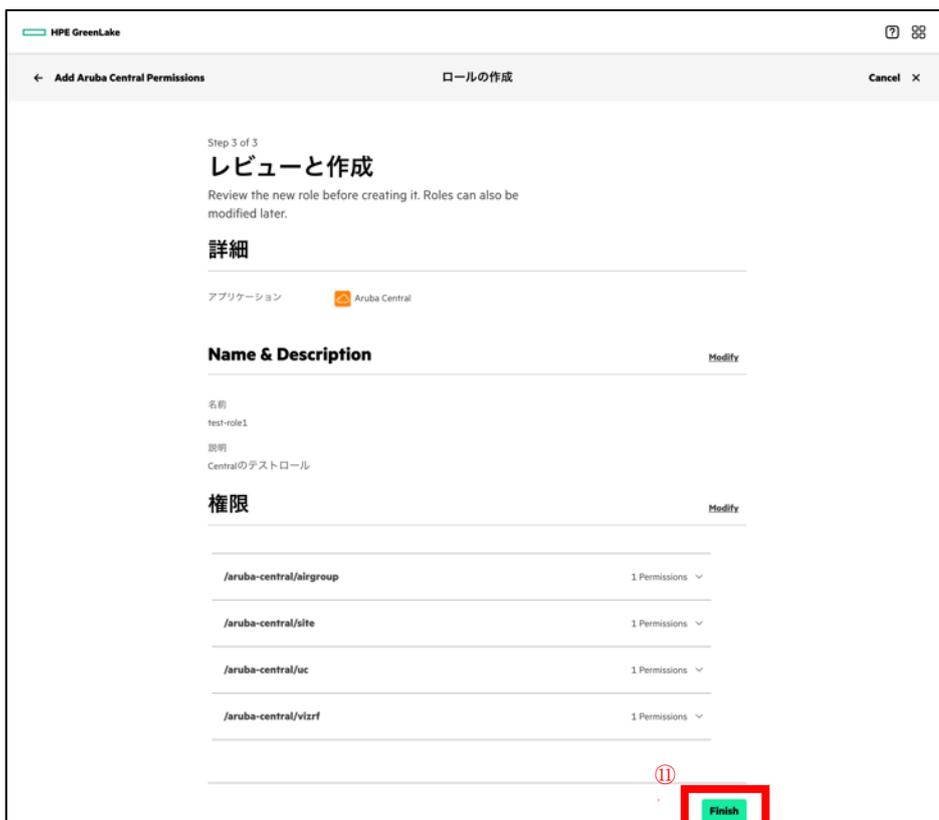
権限 権限の追加

/aruba-central/airgroup	1権限
/aruba-central/device-profiling	1権限
/aruba-central/device-profiling/application-settings	1権限
/aruba-central/device-profiling/classified-devices	1権限
/aruba-central/device-profiling/clients-profile	1権限
/aruba-central/device-profiling/discovery-settings	1権限
/aruba-central/device-profiling/generic-devices	1権限
/aruba-central/device-profiling/reports	1権限
/aruba-central/device-profiling/user-classified-devices	1権限
/aruba-central/group-management	1権限
/aruba-central/guest	1権限
/aruba-central/install-manager	1権限
/aruba-central/label	1権限
/aruba-central/msp	1権限
/aruba-central/netinsight	1権限
/aruba-central/nms	1権限
/aruba-central/nms/alerts-events	1権限
/aruba-central/nms/apprf	1権限
/aruba-central/nms/configuration	1権限
/aruba-central/nms/configuration/group-level-config	2権限
/aruba-central/nms/configuration/privileged	1権限
/aruba-central/nms/configuration/variables	1権限
/aruba-central/nms/firmware	1権限
/aruba-central/nms/troubleshooting	1権限
/aruba-central/otherapplications	1権限
/aruba-central/presence	1権限
/aruba-central/reports	1権限
/aruba-central/site	1権限
/aruba-central/uc	1権限
/aruba-central/vizrf	1権限

⑩ Next →



作成したロールのレビューを行い、問題がなければ“Finish”をクリック



### 3.5.3 ユーザーロールの割り当て

ロールをユーザーに割り当てます。

なお、ロールはGLPの操作権限とCentralの操作権限の2種類ありますのでご注意ください。

GLPの右上、四角のボタン(☰)をクリック、「HPE GreenLakeの管理」から「ワークスペースの管理」をクリック

ワークスペースのIDとアクセス をクリックし、 役割の割り当て をクリック



ワークスペースの管理

## IDとアクセス

ユーザーとリソースへのアクセスを安全に管理します。

管理

**ユーザー**  
HPE GreenLakeのワークスペースにアクセスするユーザーを招待し、リソースへのユーザーアクセスを管理します。

**役割とアクセス許可**  
ユーザー役割を管理します。

**リソース制限ポリシー**  
より詳細なアクセス制御のため、カスタマイズ可能なリソースグループで役割のアクセスを制限します。

クイックアクション

**ユーザーの招待**  
HPE GreenLakeのワークスペースにアクセスするユーザーを招待します。  
[ユーザーの招待](#)

**役割の割り当て**  
ユーザーに適切な権限を割り当てます。  
[役割の割り当て](#)

**アクセス履歴の表示**  
IDの割り当てとアクティベーションの履歴を表示し、コンプライアンス維持を可能にします。  
[履歴の表示](#)

ロールを割り当てたいユーザーをドロップダウンリストから選択し、ロールを割り当てるアプリケーションを選択、割り当てたいロールを選択の上、“役割の割り当て”をクリック

### 役割の割り当て

サービスマネージャーを選択し、役割とポリシーによってユーザーアクセスを構成します。

③ ユーザー\*

④ サーマネージャー\*

Aruba Central

① Aruba Centralがサポートするのは1ユーザーにつき1役割のみです。新しい役割の割り当てにより、現在の役割が上書きされます。

⑤ 役割\*

Custom\_Central

追加のリソース制限  
リソースへのアクセスをさらに制限するための制限を設定します。ユーザーガイドの目次のリソース制限ポリシーを参照してください。

リソースへのアクセスを制限

⑥ [キャンセル](#) [役割の割り当て](#)



### 3.6 デバイスの追加

Centralで管理するネットワーク機器は以下の手順でデバイスインベントリへ追加しておく必要があります。

GLPメニュー内から“デバイス”をクリックし、

登録済みのデバイスと割り当てているサブスクリプションの種別が確認できます。

右上の“デバイスの追加”をクリック



デバイスタイプは“ネットワークデバイス”を選択し“Next”をクリック

機器一覧のCSVファイルからインポートする場合は“CSVファイル”を選択、1台ずつシリアル番号とMACアドレスを入力して登録する場合は“シリアル番号とMACアドレス”を選択し、登録するデバイスのシリアル番号とMACアドレスを入力して“入力”をクリックし、“Next”をクリック



タグの割り当てを行う(オプション)

※デバイス一覧をタグでソートすることも可能 デバイスの場所や展開時期など用途に応じて使用

ロケーションとサービスデリバリ担当(オプション)

※ロケーションはデバイスのサポートやサービスの自動化において必要

内容を確認の上“Finish”をクリック

Step 3 of 5

### タグの割り当て (オプション)

タグは、リソースに割り当てられる名前と値のペアです。

タグが1個のデバイスに割り当てられます

名前  
名前を選択または作成

値  
値を選択または作成

割り当て

割り当てるタグ

タグが割り当てられていません。

⑤ Next →

Step 4 of 5

### ロケーションとサービスデリバリ担当者 (オプション)

ロケーションは、デバイスのサポートやサービスを自動化するのに役立ちます。追加されるデバイスに関連するすべてのサポートおよびサービスの連絡は、サービスデリバリ担当者が受け取ります。

▲ このワークスペースには、ロケーションが作成されていません。次のステップに進んでデバイスを追加し、デバイスマネージャーでロケーションを作成し割り当てます。

サービスデリバリ担当者

Select

⑥ Next →

Step 5 of 5

### デバイスの追加の確認

追加するデバイスと、割り当てられるタグを確認します。

シリアル番号	MACアドレス
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

割り当てるロケーション

割り当てられるサービスデリバリ担当者

割り当てるタグ

⑦ Finish



登録したデバイスをCentralクラスタに割り当てます。

対象のデバイスにチェックを入れて“アクション”ボタンから“サービスマネージャーに割り当て”をクリック

アプリケーションとインスタンスに実際に利用するAruba Centralのクラスタを選択して“Finish”をクリック

デバイス  
インベントリ内のすべてのデバイスをオンボードおよび管理します。

インベントリ

タグ  
デバイスのサブスクリプション  
自動サブスクリライブ

インベントリ  
すべてのデバイスを表示するか、新しいデバイスを追加します。

サービスのマネージャーの割り当てが必要  
20

サブスクリプションが必要  
2

割り当て済みおよびサブスクリライブ済み  
19

合計デバイス数  
41

デバイス追加

シリアル、モデル、またはMACアドレスで検索

フィルターを消去

1 of 41 デバイス selected

シリアル番号	モデル	サービスのマネージャー	サブスクリプションTier	MACアドレス
<input type="checkbox"/>	10000	--	--	
<input type="checkbox"/>	10000	--	--	
<input checked="" type="checkbox"/>	AP-635-JP	--	--	
<input type="checkbox"/>	2930F	--	--	

アクション

- アーカイブ
- サービスのマネージャーに割り当て
- タグの管理
- ロケーションの管理
- サービスデリバリー担当者
- エクスポート

Step 1 of 1

### (1) デバイスをサービスマネージャーインスタンスに割り当てる

デバイスに割り当てるサービスのマネージャーとサービスインスタンスを選択します。

ネットワークデバイス (1) | 1 アクセスポイント

サービスのマネージャー\*  
Aruba Central

地域\*  
AP NorthEast

Finish

割り当てられたデバイス  
このプロセスには時間がかかる場合があります。後でもう一度確認してください。

監査ログの表示

閉じる



※アプリケーションの割り当て解除は対象のデバイスにチェックを入れて“アクション”ボタンから“割り当ての削除”をクリック

デバイス  
Onboard and manage all devices in your inventory.

インベントリ  
タグ  
デバイスのサブスクリプション  
自動サブスクリライブ

インベントリ  
View all devices or add new devices.

デバイスの追加

Require Service Manager Assignments 16  
サブスクリプションが必要 2  
割り当て済みおよびサブスクリライブ済み 25  
合計デバイス数 43

Q シリアル、モデル、またはMACアドレスで検索  
Clear filters  
1 of 43 デバイス selected

シリアル番号	モデル	MACアドレス	Service Manager	サブスクリプション
<input type="checkbox"/>	AP-615-JP		Aruba Central Internal	Foundation AP
<input checked="" type="checkbox"/>	AP-505H-JP		Aruba Central Internal	Foundation AP
<input type="checkbox"/>	10000		Aruba Central Internal	Foundation-Switch-8xx
<input type="checkbox"/>	10000		Aruba Central Internal	Foundation-Switch-8xx
<input type="checkbox"/>	AP-635-JP		--	--

アクション  
アーカイブ  
割り当ての削除  
サブスクリプションの接続解除  
タグの管理  
ロケーションの管理  
サービスデリバリー担当者  
エクスポート

割り当ての削除をするデバイスを再度確認してから、「サービスマネージャーの割り当てを削除」をクリック

割り当ての削除

1個のデバイスからサービスマネージャー割り当てを削除すると、デバイスのサブスクリプションも解除されます。これにより、サービスが中断されます。続行しますか？

キャンセル



### 3.7 サブスクリプションについて

#### サブスクリプション概要

Centralにサインアップした時点で、AP,Switch,Gatewayそれぞれに評価用サブスクリプション(90日間有効)が付与されます。有償のサブスクリプションに関する注意事項は以下の通りです。

- 納品日から有効期限のカウントが開始される
- 終了日に関してCentralの画面で確認可能
- 終了日が近づくと、Subscription Expiry NotificationがEメールで送付される

#### サブスクリプションをデバイスに割り当てた時の動作

デバイスに対するサブスクリプションの割り当て＝「デバイスのCentralへの接続を許可」という設定

- Centralに登録したいデバイスにサブスクリプションを割り当て
- サブスクリプションを割り当てたデバイスはCentral管理のデバイスであることがActivateに登録される
- サブスクリプションを割り当てたデバイス自身がCentral管理だと知る
  - \* 各デバイスはActivateに対して、5分毎に自身のプロビジョニング情報の確認を行なっている
- サブスクリプションが割り当てられたデバイスは、Centralへの接続を試みる



### 3.8 サブスクリプションの追加方法

#### 3.8.1 サブスクリプションの追加方法

有効なサブスクリプションキーを追加します。

GLPの“クイックリンク”から デバイスインベントリ もしくはGLPメニュー内から デバイス をクリック。



デバイスのサブスクリプションをクリックすると現在投入されているサブスクリプションキーの一覧が表示されます。

右上の“デバイスのサブスクリプションの追加”をクリックし、サブスクリプションキーを入力して“送信”をクリック



### 3.8.2 デバイスへサブスクリプションの割り当て

該当のデバイスを設定管理するためのサブスクリプションを選択して割り当てます。  
 GLP の“クイックリンク”から デバイスインベントリ もしくは GLP メニュー内から “デバイス” をクリック。



#### サブスクリプションを割り当てたいデバイスにチェックを入れる



“アクション” > “サブスクリプションの適用” をクリック

🔍 シリアル、モデル、またはMACアドレスで検索

🗑️ ① フィルターの消去

⌵ ③ アクション

1 of 49 デバイス selected

	シリアル番号	モデル	タイプ	サービスマネージャ	サブスクリプション Tier	MACアドレス	
<input type="checkbox"/>	1	6000	スイッチ	Aruba Central	Foundation-Switch-Class-1		9 タグの管理
<input type="checkbox"/>	4	AP-615-JP	アクセスポイント	Aruba Central	Foundation AP		ロケーションの管理
<input type="checkbox"/>		6000	スイッチ	Aruba Central	Foundation-Switch-Class-1		サービスデリバリ担当者
<input type="checkbox"/>	3	6200	スイッチ	Aruba Central	Foundation-Switch-Class-2		9 タグの管理
<input type="checkbox"/>		AP-635-JP	アクセスポイント	Aruba Central	Advanced AP		ロケーションの管理
<input checked="" type="checkbox"/>	1	AP-635-JP	アクセスポイント	Aruba Central	--		サービスデリバリ担当者
<input type="checkbox"/>	c	2930F	スイッチ	--	--		9 タグの管理

④ アクション
 

- アーカイブ
- 割り当ての削除
- サブスクリプションの適用
- タグの管理
- ロケーションの管理
- サービスデリバリ担当者
- エクスポート

“サブスクリプションの適用” をクリック

Step 1 of 1

### サブスクリプションの適用

デバイスとサブスクリプションをペアリングして、デバイス接続を終了します。

アクセスポイント

---

AP-635-JP  
1台中0台のデバイスがサブスクリライブ済み

サブスクリプションの適用

適用



サブスクリプション Tier を選択し、割り当てたいサブスクリプションにチェックを入れ、“サブスクリプションの適用”をクリック

### サブスクリプションの適用

各デバイスの空いているシートを1つ選択してください。サブスクリプションキーは、有効期限の早いものからデバイスに適用されます。

アクセスポイント AP-635-JP      1台中1台のデバイスがサブスクライブ済み

サブスクリプションTierの選択

Foundation AP

サブスクリプションキー	Tier	利用可能	有効期限 ↑
<input checked="" type="checkbox"/>	Foundation AP	2	03/22/2029
<input type="checkbox"/>	Foundation AP	3	03/22/2029

選択の消去      キャンセル      サブスクリプションの適用

※左欄の”デバイス設定 > 自動サブスクライブ”を設定すると、登録してあるデバイスに自動的に有効なサブスクリプションを割り当てることができます。

手動でデバイスとサブスクリプションを割り当てたい場合はこの設定を行わないでください。

#### デバイス

インベントリ内のすべてのデバイスをオンボードおよび管理します。

インベントリ

デバイスのサブスクリプション

デバイス設定

①

自動サブスクライブ

サポートされているデバイスタイプごとに自動サブスクライブを構成します。有効なライセンスを持つ自動サブスクライブデバイスは、HPE GreenLakeでの使用が自動的に有効になります。

自動サブスクライブの設定

②



### 自動サブスクライブの設定 ×

デバイスタイプとサブスクリプションTierを選択し、デバイスの自動サブスクライブを構成します。

デバイスタイプ\*

アクセスポイント

サブスクリプションTier\*

Foundation AP (残り6シート)

③ デバイスの構成

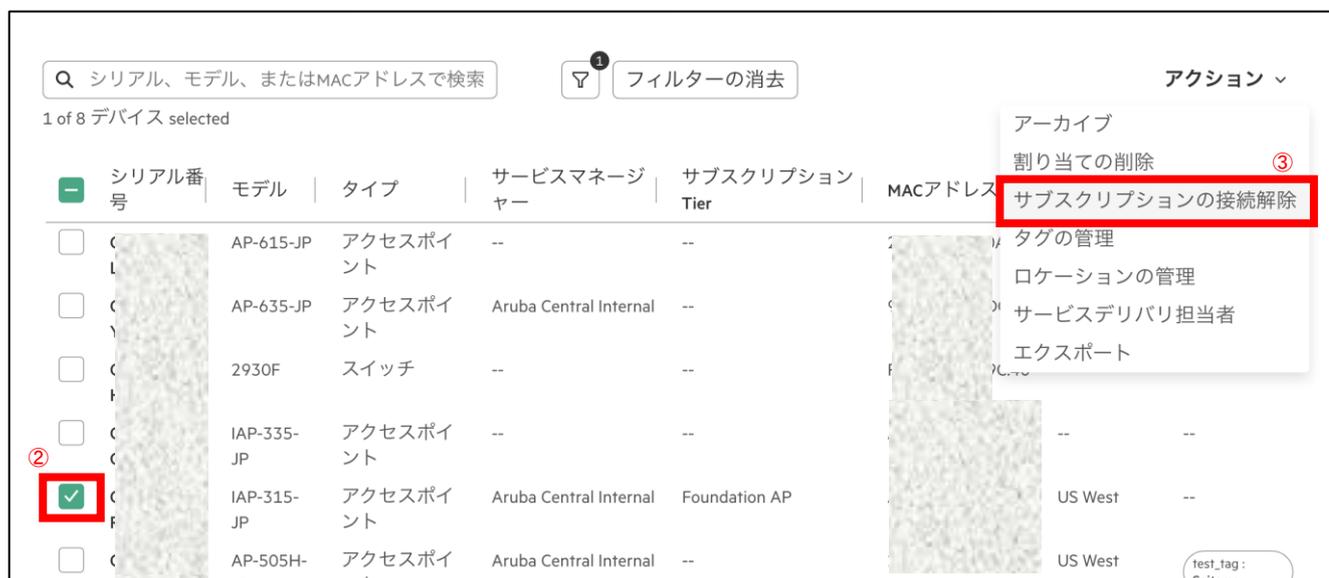


### 3.8.3 サブスクリプションのデバイス割り当て解除方法

GLPの“クイックリンク”から デバイスインベントリ をクリック



対象となる機器にチェックを入れ、“サブスクリプションの接続解除”をクリック



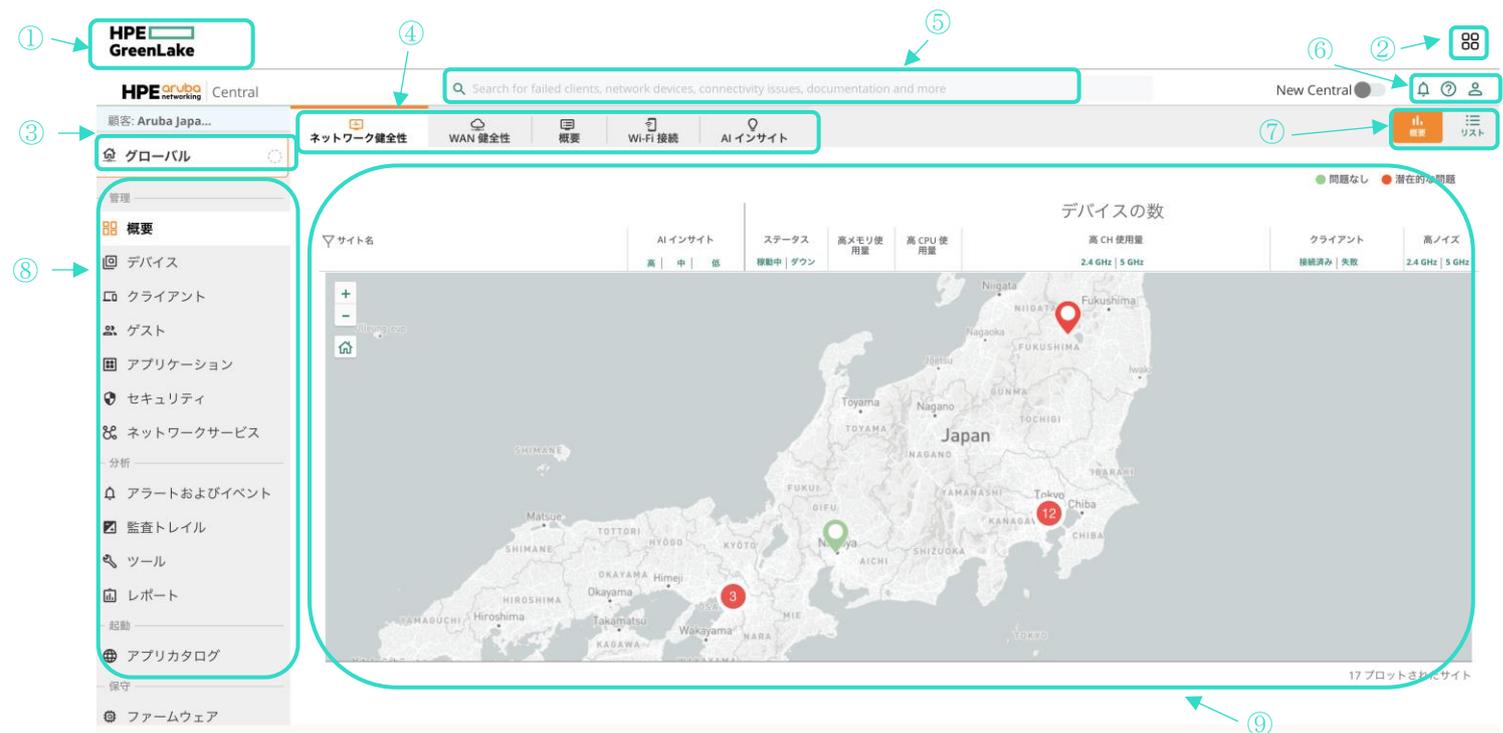
“サブスクリプションの接続解除”をクリック



## 4. HPE Aruba Networking Central 入門

### 4.1 Central インターフェースの基本操作

- ① 「HPE GreenLake」のアイコンをクリックするとGLPIに戻る
- ②  のアイコンをクリックすると、GLPのクイックスタートメニューが表示
- ③ フィルターアイコンをクリックして、使用可能なグループ、デバイス、ラベル、およびサイトの一覧が表示。“グローバル”を選択するとグローバルレベルになる。グローバルレベルでしか設定できない項目もあるため、注意が必要。
- ④  の画面表示切り替えタブ
- ⑤ 検索ボックス
- ⑥  通知を表示 ※Centralから来ているアラート等のログを確認可能
-  ヘルプ機能 ※ドキュメントへのアクセス、Centralページ内のヘルプ参照はこちらから
-  “ユーザー設定”、“サービス規約”、“ログアウト” ※ユーザー設定を変更するのはGLPから可能
- ⑦  の表示結果の表示方法や時間軸を変更可能
- ⑧ メニューボタン
- ⑨  のメニューボタンをクリックすると、こちらの表示がかわり、各メニュー項目の詳細や設定等が可能



## 4.2 グループ・サイト・ラベルの作成方法

### 4.2.1 グループ

グループが同じデバイスが設定が同じになります。

拠点が異なっても、同じ設定にしたいデバイスがあれば、同じグループにまとめると便利です。

グループで一括設定後にデバイスレベルで個別の設定を行うことも可能です。

同じグループでもAP、スイッチ、ゲートウェイは別の設定になります。

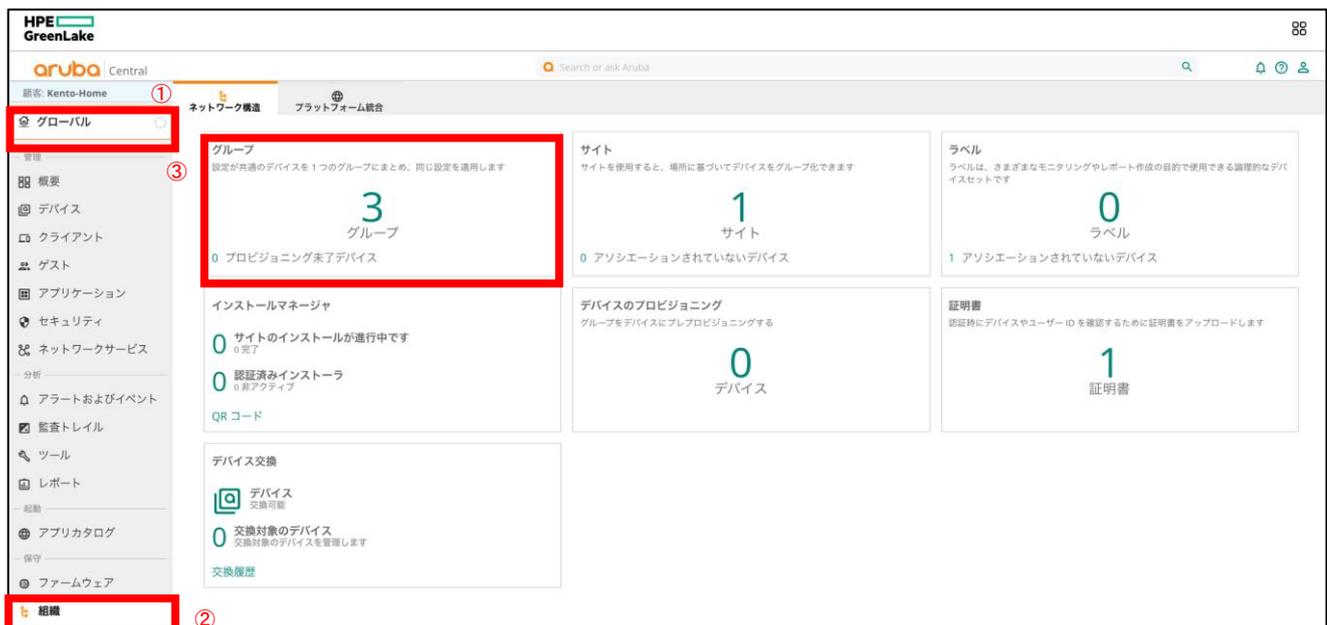
**\* オンラインのデバイスをグループに割り当てた時点で、該当デバイスはグループの設定で上書きされます。**

**ローカルデバイスの設定とグループの設定に差異がある場合は再起動を伴うこともあります。ご注意ください。**

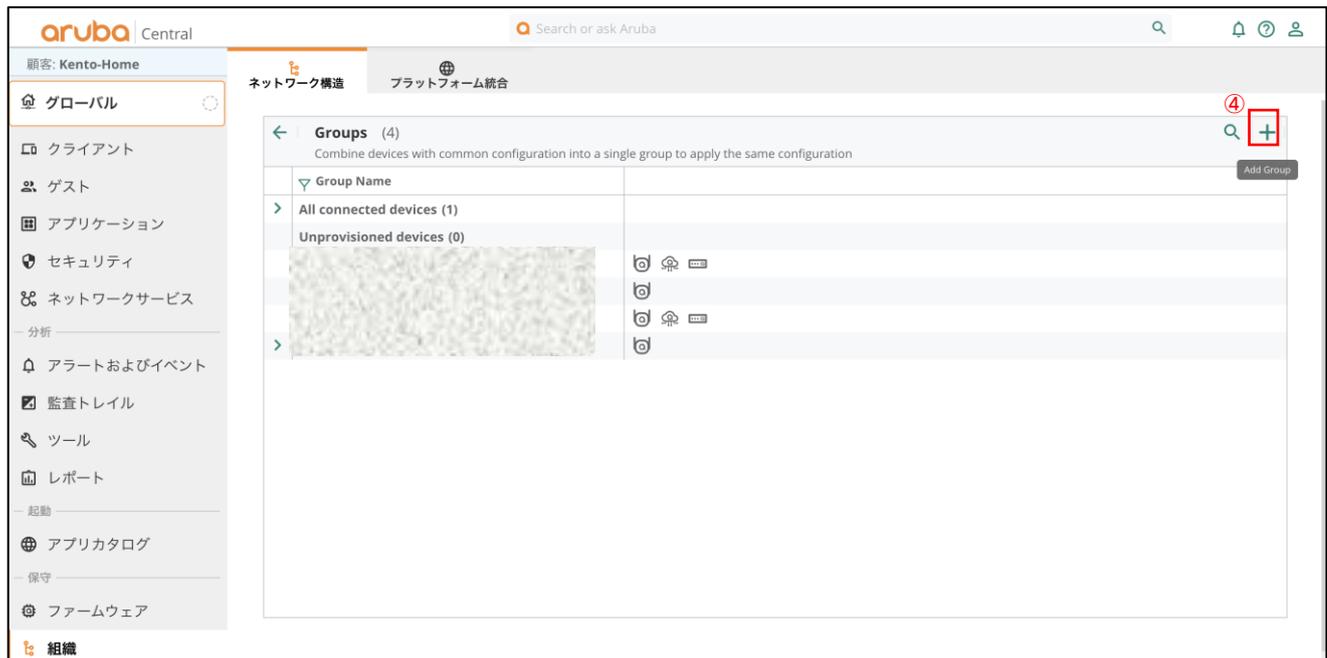
**ローカルデバイスの設定をCentralに取り込む場合は、各デバイス (AP/Switch/Gateway) のCentral基本操作ガイドを参照ください。**

グループの作成は、以下から行うことができます。

#### ■グローバル > 組織 > グループ



グループの作成ページで、+ボタンをクリックしてグループを作成します。



グループ名、グループに含むデバイスタイプを選択し、“次へ”をクリックします。  
テンプレートを利用する場合、そのグループに適用された機器は全てCLIベースのテンプレートになるのでご注意ください。  
GUIで設定を行いたい場合は“テンプレートを使用して設定”を有効としないでください。

← グループの追加

⑤ 名前  
test

優先グループ設定を使用

新しい Central がこのグループのすべての設定を上書きすることを許可:

① このトグルをオンにすると、すべての構成が新しい Central 構成モデルからプッシュされます。

グループに次を含む:

アクセスポイント

ゲートウェイ

スイッチ

EdgeConnect SD-WAN

テンプレートを使用して設定

デバイス設定ページの代わりにスクリプト/テンプレートを使用するには、このオプションを有効にします。

キャンセル 次へ

グループのアクセスポイントとゲートウェイのアーキテクチャ、ロール、スイッチのタイプを選択します。

← グループの追加

このグループのアクセスポイントとゲートウェイのアーキテクチャ:

ArubaOS 10  ArubaOS 8

このグループのアクセスポイントのネットワークロール:

キャンパス/ブランチ  マイクロブランチ

このグループのゲートウェイのネットワークロール:

モビリティ  ブランチ

このグループで使用されるスイッチのタイプ:

AOS-CX のみ  AOS-S のみ  AOS-CX および AOS-S

AOS-S のみのモニタリング

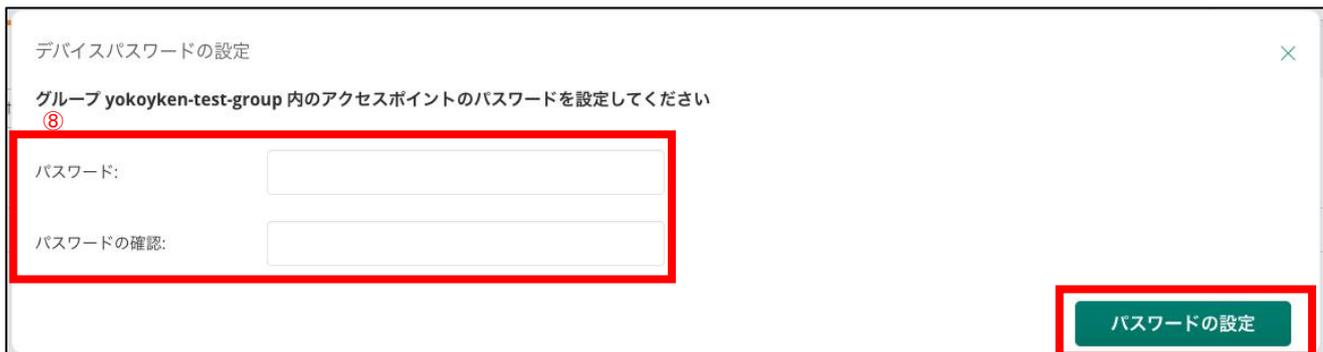
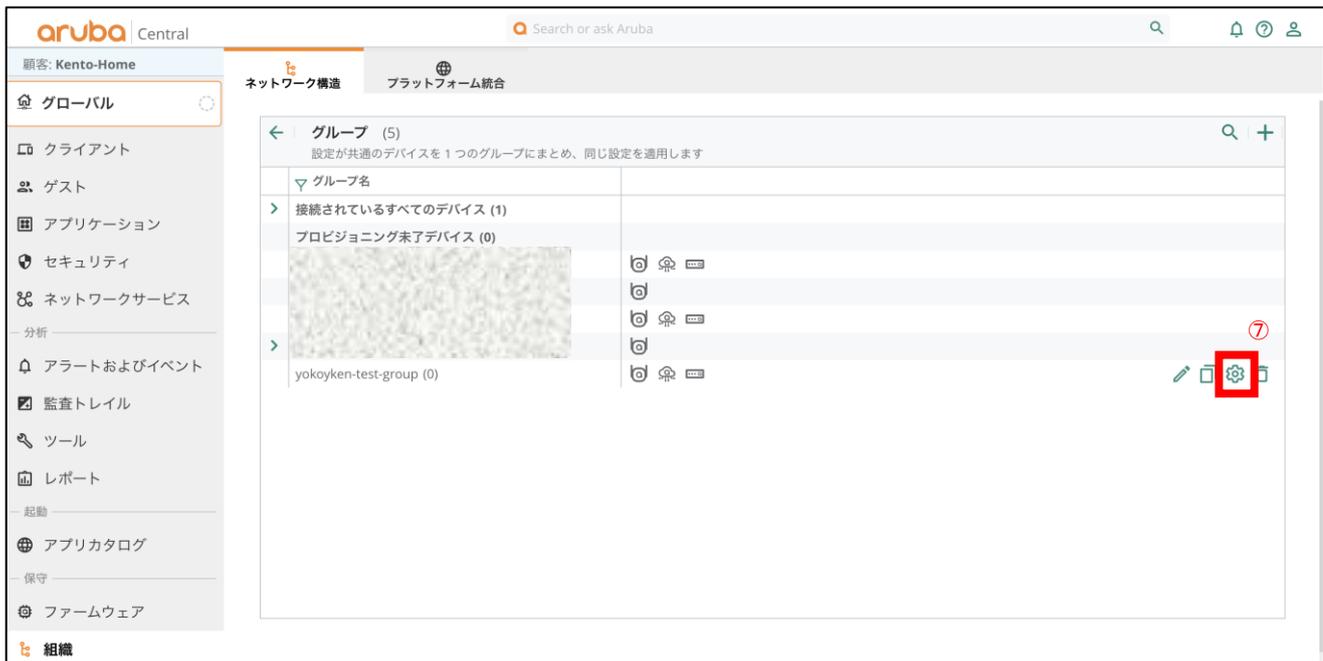
AOS-CX のみのモニタリング

これらを優先グループ設定にする

キャンセル 追加 ⑥



グループ作成後は作成したグループがグループリストにあることを確認し、“設定に移動”ボタンをクリックしてグループのパスワードを設定します。パスワードは、機器のコンソールアクセス時のパスワードになります。



グループ作成とパスワードの設定完了後、デバイスをグループに割り当てます。  
 デバイスをグループに割り当てる方法には2種類あります。

① Centralでオンラインになったことがあるデバイス

グループのページで「接続されているすべてのデバイス」から追加したいデバイスを選択し、「デバイスの移動」で該当グループを選択して移動させます。

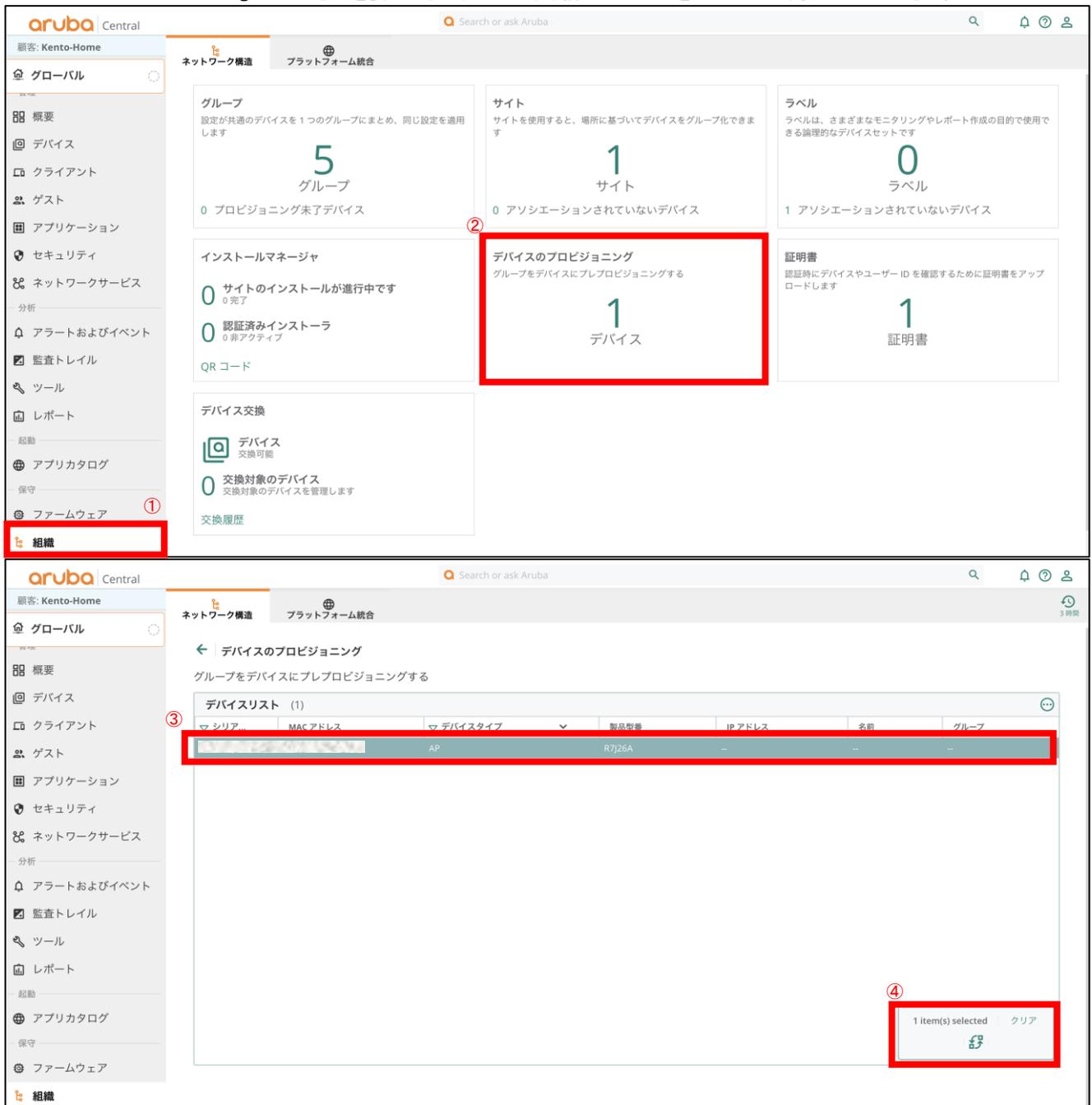
※一度もオンラインになったことが無いデバイスはここに表示されませんので、②の方法(アカウントホーム > デバイスインベントリ)でデバイスをグループに適用させます。

The screenshot shows the Aruba Central interface for a group named 'グループ (5)'. The page title is 'グループ (5)' and it indicates that settings for common devices in the group will be applied. A red box highlights the dropdown menu '接続されているすべてのデバイス (1)'. Below this is a table with columns: デバイス名, タイプ, シリアル番号, and MACアドレス. The table is currently empty. A red box with the number '1' points to the '1 item(s) selected' button and the 'クリア' (Clear) button.

The screenshot shows the 'デバイスの移動' (Move Device) page in Aruba Central. A red box highlights the '宛先グループ' (Destination Group) dropdown menu, which is currently set to 'yokoyken-test-group'. Below this, the '宛先グループの設定:' (Destination Group Settings) section lists several options: ArubaOS 10 アーキテクチャ, キャンパス/ブランチアクセスポイント, ブランチゲートウェイ, AOS-CX および AOS-S スイッチ, and UI グループ. A note states 'デバイスは宛先グループの設定を採用します' (Devices adopt the settings of the destination group). At the bottom, there are two buttons: 'キャンセル' (Cancel) and '移動' (Move), with the '移動' button highlighted by a red box.



- ② Central で一度もオンラインにならなかったことがないデバイス  
 “組織”のメニューから“デバイスのプロビジョニング”をクリックして、追加したいデバイスを選択し、“デバイスの移動”で該当グループ  
 を選択して移動させます。(グループの選択と移動は手順①参照)  
 ZTP(Zero Touch Provisioning)はこの方法を使ってオンラインになる前のデバイスをグループに割り当ててください。



### 4.2.2 グループからデバイスを削除する

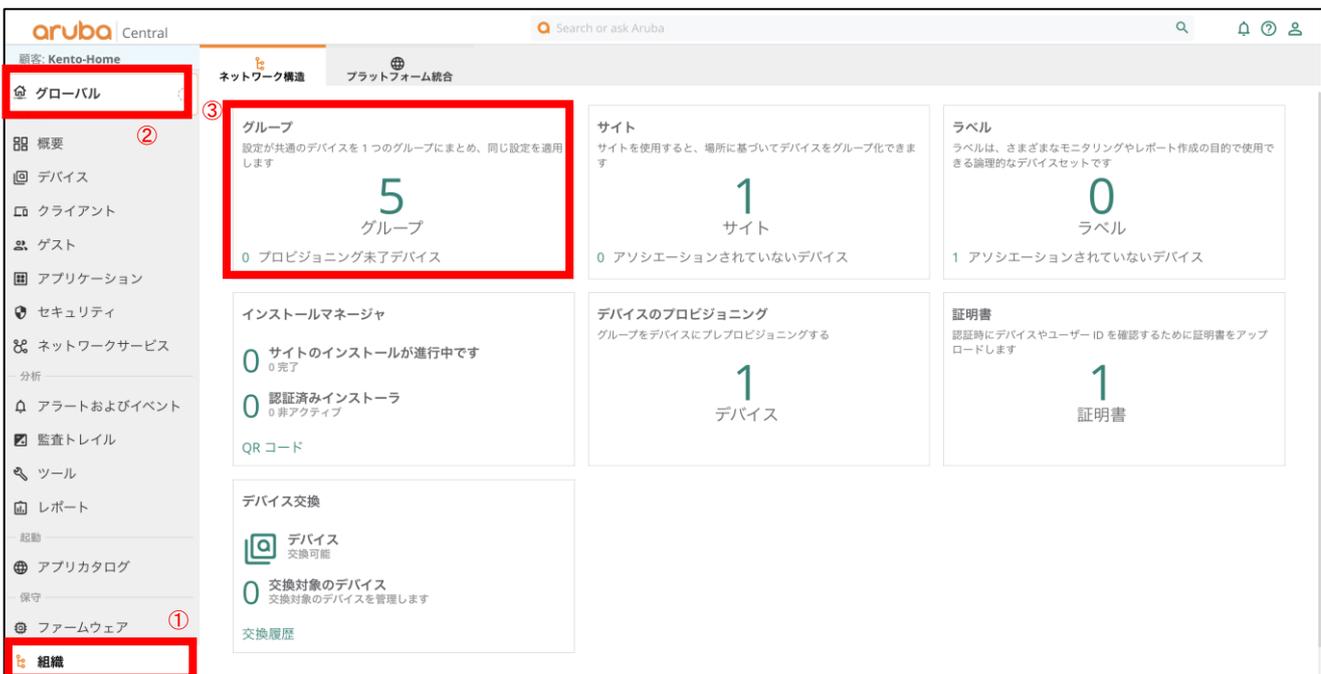
該当のグループを選択>デバイスからオフラインのデバイスを選択、ゴミ箱マークをクリックで削除できます



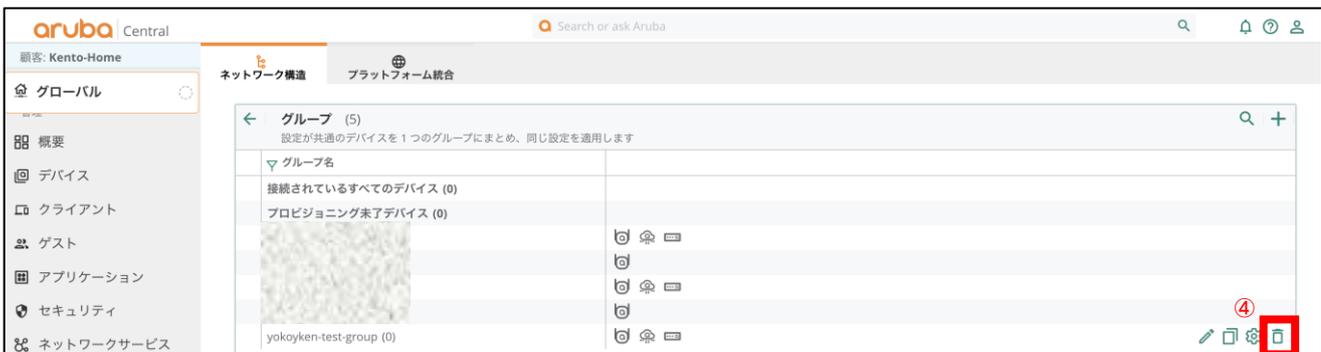
#### グループを削除する

グループを削除する必要がある場合、そのグループは空である必要があります。グループ内のデバイスを削除するか、他のグループへデバイスを移動させてください。空のグループは以下の方法で削除できます。

#### ・グローバル>組織>グループ



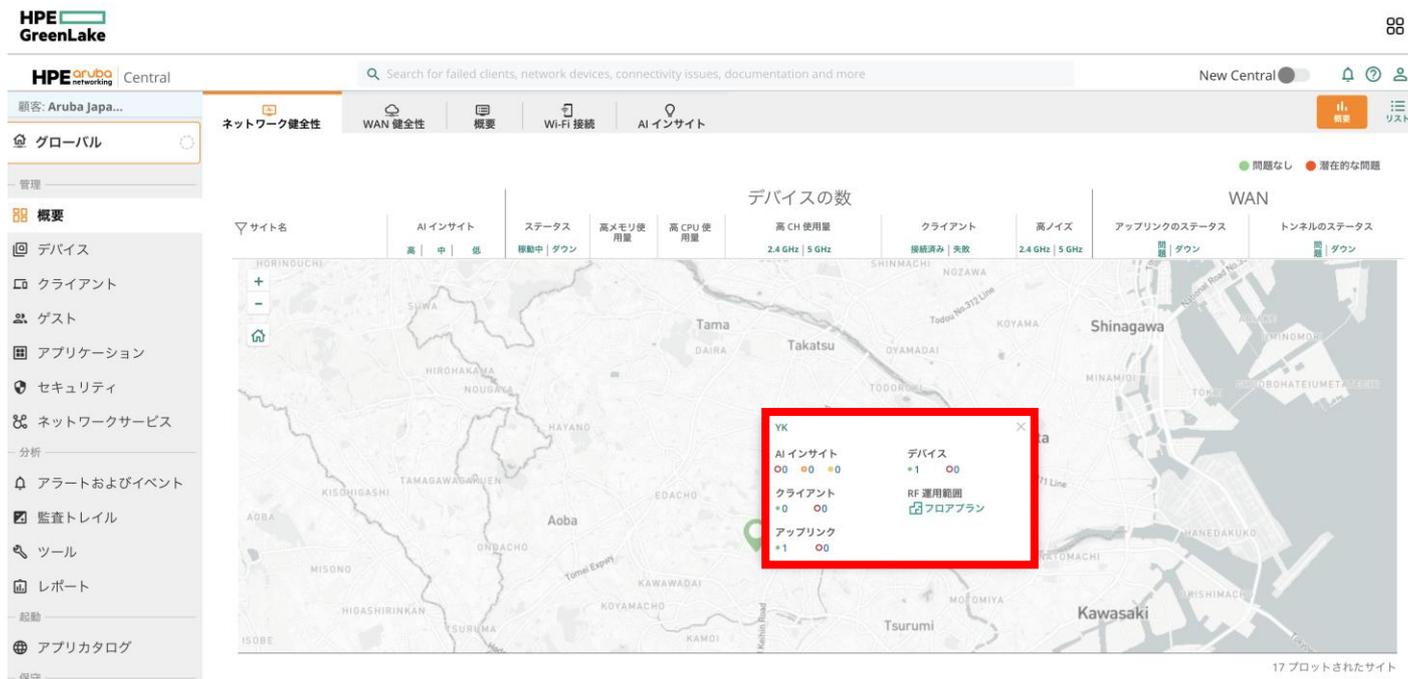
空のグループを選択し、右のゴミ箱アイコンをクリック



### 4.2.3 サイト

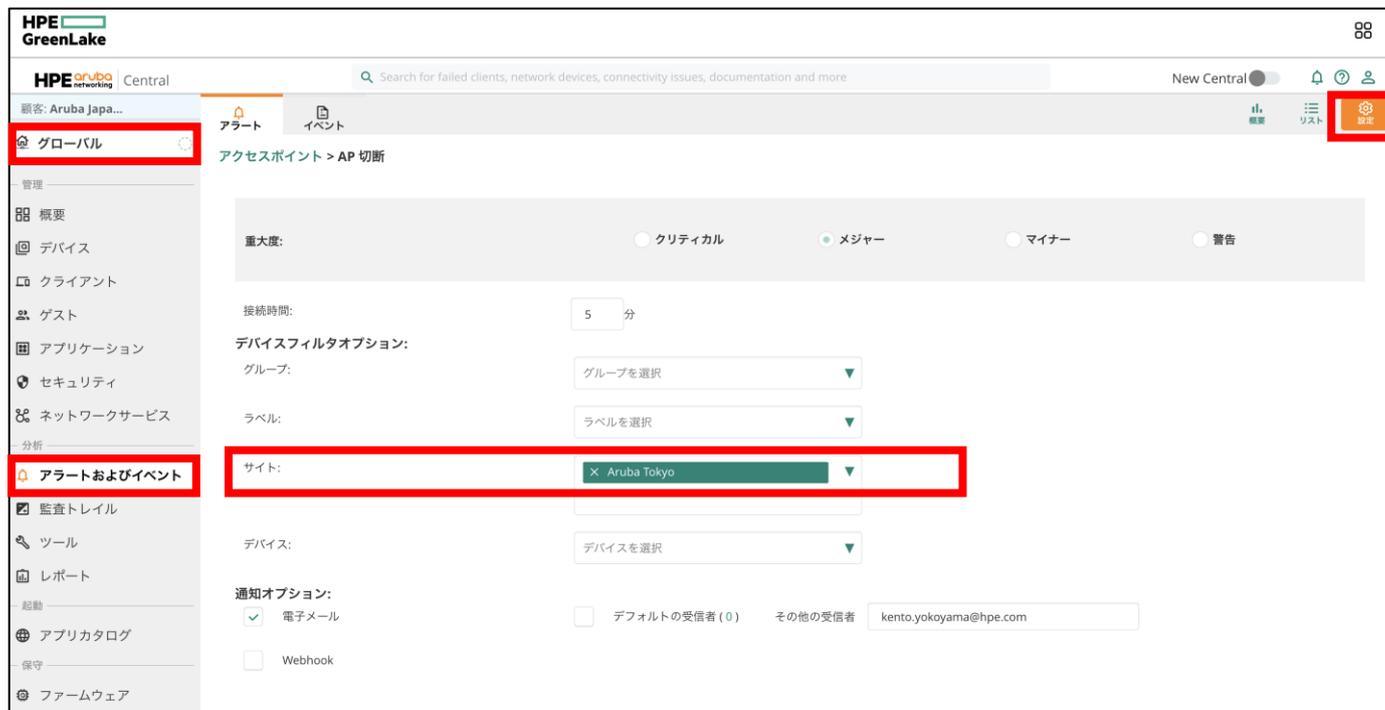
同じ拠点の機器は同じサイトでまとめます。

これにより概要のMAPビューにピンを立てることができ、サイト毎のステータスを表示することができます。



サイトは、特定のサイトでのみアラートを設定したい時にも利用が可能です。

・グローバル > アラートおよびイベント > 設定 > 対象となるアラートを選択





サイト名、住所を入力し“追加”とすることで、概要のMAPIにピンを立てることができ、そこからヘルスをチェックすることもできます。

5

サイト名	Tokyo-office
所在地住所	大島2-2-2
市区町村	江東区
国	Japan ▼
都道府県	Tokyo ▼
郵便番号	136-8711
緯度 (オプション)	
経度 (オプション)	

追加

デバイスへの適用は、デバイスをドラッグ&ドロップでサイトに適用します。



### 4.2.4 ラベル

ラベルはタグのようなもので、特定のラベルが付いたデバイスのステータスのみ確認、アラートの設定で特定のデバイスに関してのみアラートを設定したいときに利用します。



ラベルの作成は、以下から行うことができます。

#### ■グローバル > 組織 > ラベルを選択

